

## 東松山市「障害者計画」

### 策定委員会が始まります。

障害者基本法にもとづく「障害者計画」及び、障害者総合支援法にもとづく「障害福祉計画」をそれぞれの各都道府県、市町村は策定することになっています。東松山市では、それらを一体のものとして策定していますが、その改定の時期を迎えたので、東松山市障害者計画等策定委員会が、6月から始動します。約1年かけて議論が進められ、来年（平成27年度）には新しい計画が出来上がる予定です。

東松山市では、初めて障害者計画を策定した10数年前から、この計画に「障害者」という文字を使わず「市民福祉プラン・ひがしまつやま」と名付けてきました。いわゆる障害者のためにだけ、あれこれの施策を整備するのではなく、障害のある人を含む市民の誰でもが、利用できるサービスを整え、地域社会全体が「福祉色」に染められていくことをめざした計画づくりでした。

もちろん、未だにそれははるかなる理想ではありません。しかし、これまでの計画策定にあたって社会福祉法人昴の取り組みとその根底にある考え方が反映されることが少なくなかったことを思い起こすと、計画の見直すこの機会に積極的な提案をしつつ昴の実践そのものも深化発展させることが求められているのではないのでしょうか。

「理想」という言葉は「そんなの、『理想』でしょ…」と、ともすれば、それを語る人を侮るネガティブな使い方がされることもあります。しかし、「理想」という美しい言葉をその意味通りに現実を変える原動力にしながらその実現をめざしていきたいものです。

「…ができたらな」という『夢』が現実になったからこそ、今では宇宙の彼方にまで人は空を飛べるようになりました。ライト兄弟が初めてアメリカの田舎の海辺を12秒間、36メートル飛んだのは1903年のことです。それから40年足らずでゼロ戦が開発され、さらに1969年にはジャンボジェットが完成し、アポロは月にまで届きました。近く「はやぶさ」が何億キロの旅から帰還しました。最初の一步を踏み出しさえすれば…！

## WAH-WAH ART IN いんくる堂

5月31日から6月8日までの8日間開催された「かうんと5」の展示会が終了しました。期間中の観覧者は延べ200人（主催者調べ）ほどで、大成功といえるほどではありませんが、来てくださったお客さんが残してくれた記帳簿には「見ごたえがありました。」「子どもたちが見入っていました。」「ホックリします。」「笑顔になりました。」…等々の感想が残され、大変好評でした。

新作のオリジナルTシャツは100着弱の売り上げで上々の滑り出しです。Tシャツのデザインの素材を提供してくれた2人の作家には印税（価格×製作数×0.1）を10万円あまり支払うことができました。Tシャツは450着あまり製造しましたが、売れないと次のグッズの開発ができません。あんまり来場してもらえなかった昴職員の皆さんにも買っていただきたいと願っています。なお、次の商品の企画会議を若い人たちに集まってもらって近く開催します。



## 昴☆共生社会研究所

### 共生社会開発研究・研修奨励事業応募受付中

この事業は、自分の興味ある分野で先進的な取り組みをしている地域に行ってみ学や調査をしたり、研修会や学会に参加したりする費用（交通費、宿泊費等）を援助しようとするものです。

応募資格は昴の職員であれば誰（雇用形態を問いません）にもあります。もちろん、昴☆研の所員以外もOKです。応募要領は昴☆研HPの「研修」のページからダウンロードしてください。一人当たり上限10万円、総額で年間20万円の予算があります。これまで5人の職員が利用しました。